

復興支援活動推進業務 復興支援員研修（５）～活動報告会 実施要領

催事名	研修（５）現状を客観視して、活動をより深めていくために 復興支援員活動報告会
開催日時	研修（５） 1月16日（木）10：30～12：30（10：00開場） 活動報告会 1月16日（木）13：30～16：00（13：00開場）
開催会場	東松島市コミュニティセンター 2階 会議室 住所 宮城県東松島市矢本字大溜 1-1 会場電話番号 0225-82-6969 http://higamatsu-comcen.jp/comcen-hp/access-contactus.html
定員	50名
対象者	復興支援員／自治体担当者／受託団体関係者
ねらい	<p><u>研修（５）</u></p> <p>支援活動が長期化していくと、壁にぶつかって悩みが生まれたり、外部環境が大きく変化し活動内容を見直さなければならなくなったりすることがあります。そのような時、外部の客観的な視点から助言をいただくと、思わぬ解決策が見つかるものです。</p> <p>さらに、現場で活躍されている支援者の皆さんが、自分たちで現状を客観的に見つめなおし、課題やその解決方法を自ら見出していく能力を身に着けていくことも大切です。</p> <p>今回の研修では、その手法「スーパーバイズ」について、事例を元に学びます。</p> <p><u>活動報告会</u></p> <p>各復興支援員拠点の今年度の活動の内容、成果などについて共有し、次の活動へとつなげていきます。</p>
内容	<p><u>研修（５）</u></p> <p>講師 東北学院大学地域共生推進機構 本間照雄特任教授</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南三陸町の事例から考えるスーパーバイズ／スーパーバイザーとは ・現場から一步引いた視点から物を見ることで、課題やその支援方法が見えてくる。 ・主体性を支える支援「地域をよくすることができるのは、あなたたち住民しかいない」という想いを大切に。 <p><u>活動報告会</u></p> <p>今年度の活動内容と成果、残された課題、今後に向けた抱負といった点について、拠点毎に各7分間で発表いただき、意見交換を行います。</p> <p>活動の内容がわかる資料（すでに作成されているもので結構です）を、1月14日（火）までに、事務局宛てにお送りください。当日追加配布される場合は、50部準備ください。会場には、パソコンとプロジェクターを準備します。映像資料投影の場合は、事前にご相談ください。</p>

主催	宮城県（震災復興・企画部地域復興支援課）
開催協力	一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム 特定非営利活動法人地星社 宮城県サポートセンター支援事務所（宮城県社会福祉士会） 特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所 山元復興ステーション

<会場案内図>

東松島市コミュニティセンター 2階 会議室

住所 宮城県東松島市矢本字大溜 1-1

会場電話番号 0225-82-6969

